

瀬戸内海環境保全特別措置法に 基づく事前評価に関する書面

令和 8 年 7 月 2 9 日

申請者の住所及び氏名（法人にあっては所在地、名称、代表者名）

申請者

〒104-0028

東京都中央区八重洲二丁目2番1号

三井化学株式会社
社長 市村 聡

申請代理者

〒740-0061

山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号

三井化学株式会社 岩国大竹工場
工場長 猿渡 和孝

1. 許可申請の概要

(1) 工場の概要

工場又は事業場の名称	三井化学株式会社岩国大竹工場			
所在地	〒740-0061 山口県玖珂郡和木町和木六丁目1番2号			
業種	石油化学製品製造業	従業員数	622人	
主要製品名	TPX、液状ポリオレフィンオリゴマー			
特定施設 (番号・名称・基数)	33-ニ6基, 33-リ3基, 37-イ4基, 37-ロ18基, 37-ハ4基 37-タ5基, 71の2-イ35基, 74 3→4基 みなし指定地域特定施設 3基 (合計 81→82基) (内訳) 新設: 74 1基 廃止: 0基 既設: 81基 (みなし指定地域特定施設含む)			
排水量	通常	226,678 m ³ /日	最大	238,258 m ³ /日
排水量及び負荷量の増減	特定排水量 : 32,111 m ³ /日 で増減なし 特定排水 COD 負荷量* ¹ : 1,549.1 kg/日 で増減なし 特定排水窒素負荷量* ¹ : 252.7 kg/日 で増減なし 特定排水りん負荷量* ¹ : 98.00 kg/日 で増減なし * ¹ 負荷量 (kg/日) = 通常排水量 (m ³ /日) × 通常水質 (mg/L) × 10 ⁻³ 総排水量 : 260,922 m ³ /日 で増減なし 総COD負荷量* ² : 2,070.5 kg/日 で増減なし 総窒素負荷量* ² : 499.2 kg/日 で増減なし 総りん負荷量* ² : 249.6 kg/日 で増減なし * ² 負荷量 (kg/日) = 最大排水量 (m ³ /日) × 通常水質 (mg/L) × 10 ⁻³			
排水処理施設の種類の数	・オイルセパレーター 30 基 (各プラントオイルセパレーター、A総合オイルセパレーター、A中間オイルセパレーター) ・MPCR液中燃焼炉 1基 ・加圧浮上処理装置 2基 (TPX 附属施設、LC/2LC 沈殿凝縮槽附属施設) ・沈殿槽 1 基 (污泥焼却炉附属施設) ・沈殿凝縮槽 1 基 (LC/2LC の附属施設) ・活性污泥処理装置 2基 (上記特定施設番号 74 に該当するもの) ・中和処理施設 0→1基 ・A放流口総合オイルセパレーター 1基 (同上)			

(2) 特定施設の設置（変更）の理由及び概要

別紙－添付 変更の概要 参照

(3) 排水口における排出水の汚染状態及び量が減少（変わらず）の場合は理由

別紙－添付 変更の概要 参照

2. 施行規則第4条第1項の既定に関する事項

(1) 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業場の排水口の位置及び数

- ア 排水口の位置 添付 別図－１のとおり
- イ 排水口の数 2 カ所（A、B放流口）
13カ所（R－1～13）
添付 別図5－１のとおり
- ウ 排水系統及び水系図の略図
添付 別図－6 岩国地区排水バランス系統図のとおり
- エ 環境基準点（E－D－108、V－C－2） 添付 別図1－1、別図1－2のとおり

(2) 工場又は事業場の排水口の周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準 その他水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項

- ア 水質汚濁に係る環境基準
(ア) 人の健康に係る環境基準

項目	カドミウム	全シアン	鉛	六価クロム	砒素	総水銀	アルキル水銀	P C B	ジクロロメタン
基準値	0.003 mg/ℓ 以下	検出されないこと	0.01 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.0005 mg/ℓ 以下	検出されないこと	検出されないこと	0.02 mg/ℓ 以下

項目	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエチレン	シス-1,2-ジクロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン	1,3-ジクロロプロペン
基準値	0.002 mg/ℓ 以下	0.004 mg/ℓ 以下	0.1 mg/ℓ 以下	0.04 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.006 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.002 mg/ℓ 以下

項目	チウラム	シマジン(CAT)	チオベンカルブ(ベンチオカーブ)	ベンゼン	セレン	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	ふっ素	ほう素	1,4-ジオキサン
基準値	0.006 mg/ℓ 以下	0.003 mg/ℓ 以下	0.02 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	0.01 mg/ℓ 以下	10 mg/ℓ 以下	0.8 mg/ℓ 以下	1 mg/ℓ 以下	0.05 mg/ℓ 以下

(イ) 生活環境に係る環境基準

排出先の河川・海域名		広島湾西部	小瀬川水系
環境基準点		E-D-108	VC-2
環境基準類型		B、Ⅱ	B
基準値	水素イオン濃度 (PH)	7.8 以上 8.3 以下	6.5 以上 8.5 以下
	生物化学的酸素要求量 (BOD) mg/ℓ	—	3 以下
	化学的酸素要求量 (COD) mg/ℓ	3 以下	—
	浮遊物質 量 (SS) mg/ℓ	—	25 以下
	溶存酸素 量 (DO) mg/ℓ	5 以上	5 以上
	大腸菌 数 CFU/100ml	—	1,000 以下
	n-ヘキサン抽出物質量 mg/ℓ	検出されないこと	—
	全窒素 mg/ℓ	0.3 以下	—
	全リン mg/ℓ	0.03 以下	—

イ その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標

(3) 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大値並びに当該排出水の1日当たりの通常値及び最大値並びに当該排出水の汚濁負荷量

排水口 番号又は 名称	区 分 項 目	現 状			設 置 (変更) 後			負荷量の 増 減
		通 常	最 大	※ 負荷量	通 常	最 大	※ 負荷量	
A 排 水 口	排水量 $\text{m}^3/\text{日}$	226,678	238,258		226,678	238,258		
	水素イオン濃度 (PH)	8	6~9		8	6~9		
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)	8.5	20	2,025.2	8.5	20	2,025.2	0
	浮 遊 物 質 量 (SS)	14	23	3,335.6	14	23	3,335.6	0
	全 窒 素 (T-N)	2	5	476.5	2	5	476.5	0
	全 磷 (T-P)	1	3	238.3	1	3	238.3	0
B 排 水 口	排水量 $\text{m}^3/\text{日}$	14,843	22,664		14,843	22,664		
	水素イオン濃度 (PH)	8	6~9		8	6~9		
	生物化学的酸素 要求量 (BOD)							
	化学的酸素要求 量 (COD)	2	10	45.3	2	10	45.3	0
	浮 遊 物 質 量 (SS)	1	9	22.7	1	9	22.7	0
	全 窒 素 (T-N)	1	3	22.7	1	3	22.7	0
	全 磷 (T-P)	0.5	1.5	11.3	0.5	1.5	11.3	0
雨水排水口 (R-1~13)								

※ 負荷量 ($\text{kg}/\text{日}$) = 最大排出量 ($\text{m}^3/\text{日}$) $\times$ 通常水質 (mg/ℓ) $\times 10^{-3}$

(4) 周辺公共用水域の水質の現況及び排水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度

ア 海 域

採水機関名	山口県	分析機関名	山口県
-------	-----	-------	-----

測 定 点 名	E－D－1 0 8								
採水年月日及び時間	項目 区分		水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T－N (mg/ℓ)	T－P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)
第 1 回 令和6年4月～ 令和7年3月 － 時 － 分 干満の別：	水	表 層	－	8. 2	1. 9	－	0. 18	0. 020	9. 5
		中 層	－	8. 2	2. 0	－	－	－	9. 1
		平 均	－	8. 2	2. 0	－	0. 18	0. 020	9. 4
第 2 回 年 月 日 時 分 干満の別：	質 の	表 層							
		中 層							
		平 均							
第 3 回 年 月 日 時 分 干満の別：	現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
総 平 均									
将 来 水 質									

「出典：令和7年版 山口県環境白書参考資料集」

測 定 点 名									
採水年月日及び時間		項目 区分	水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T－N (mg/ℓ)	T－P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)
第 1 回 年 月 日 時 分 干満の別：	水	表 層							
		中 層							
		平 均							
第 2 回 年 月 日 時 分 干満の別：	質 の	表 層							
		中 層							
		平 均							
第 3 回 年 月 日 時 分 干満の別：	現 況	表 層							
		中 層							
		平 均							
総 平 均									
将 来 水 質									

測 定 点 名										
採水年月日及び時間		項目 区分		水温(℃)	p H	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T－N (mg/ℓ)	T－P (mg/ℓ)	DO (mg/ℓ)
第 1 回 年 月 日 時 分 干満の別：		水 質 の 現 況	表 層							
			中 層							
			平 均							
第 2 回 年 月 日 時 分 干満の別：	表 層									
	中 層									
	平 均									
第 3 回 年 月 日 時 分 干満の別：	表 層									
	中 層									
	平 均									
総 平 均										
将 来 水 質										

イ 河 川

採水機関名	山口県				分析機関名	山口県			
水域・測定点名	項目 区分・日時	pH	BOD (mg/ℓ)	COD (mg/ℓ)	SS (mg/ℓ)	T-N (mg/ℓ)	T-P (mg/ℓ)	流量 (m³/日)	DO (mg/ℓ)
V-C-2	令和6年 4月 ～ 令和7年 3月	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—
	平 均	7.1	0.9	—	2	0.39	0.013	—	10
将 来 水 質									
	月	:							
		:							
		:							
	平 均								
将 来 水 質									
	月	:							
		:							
		:							
	平 均								
将 来 水 質									

「出典：令和7年版 山口県環境白書参考資料集」

ウ その他当該水域に関する事項

(5) 影響範囲及び予測の方法

ア 汚濁負荷量の増加の有無 (有 ・ **無**)

(ただし、汚濁負荷量の増加がない場合は、イ以下は省略する。)

(6) その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項

当工場の放流口における排出水の負荷量は、COD ; 2,070.5 kg/日、窒素 ; 499.2 kg/日、リン ; 249.6 kg/日について増減ありません。従って、予測評価は致しません。

以上

変更の概要

【変更概要】

- ・ 三井化学 徳山分工場から廃アルカリ排水をタンクローリー車で受入れ、岩国大竹工場に新たに新設する中和処理装置で処理し、その後、活性汚泥処理施設へ送ります。そのため、特定排水が増加いたします。また、活性汚泥処理施設の調整水を見直し、特定排水が減少いたします。 トータルの排水量の増減はありません。

つきましては本施策に関わる瀬戸法特定施設設置（変更）許可申請を致したく宜しくお願い申し上げます。

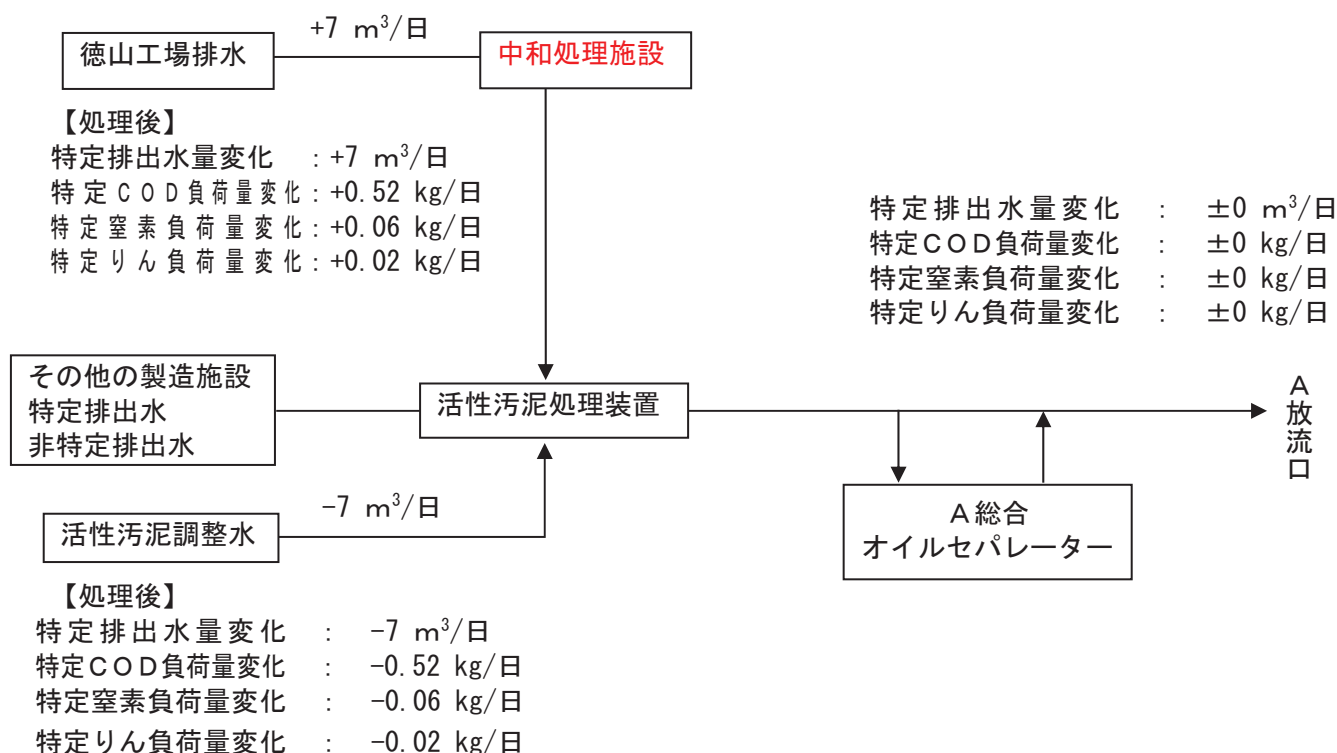
記

1. 特定施設関連

- ・ 施設番号 36、37：活性汚泥処理施設（1AS、2AS）の使用方法修正
- ・ 施設番号 41：中和処理施設（特定施設 74：共同処理施設）の新設

2. 排出量及び負荷量の変更

（1）排水系統別の変更概要



（2）排水系統別の内訳

徳山工場排水

（業種番号 122：有機化学工業製造品製造業）

徳山分工場排水を岩国大竹工場で受け入れます。そのため特定排水が発生

いたします。

以下に排出水量及び負荷量を示します。非特定排水は変更ありません。

排水量及び負荷量

AS：活性汚泥処理装置

排水口名	排水の種類		A S 処理含む				
			排出量 (m ³ /日)	COD 濃度 (ppm)	COD 負荷量 (kg/日)	窒素負荷量 (kg/日)	りん負荷量 (kg/日)
A 放流口	特定排水	変更前	—	—	—	—	—
		変更後	7	74.0	0.52	0.06	0.02
		増 減	+7	—	+0.52	+0.06	+0.02
	非特定排水	変更なし	—	—	—	—	—
合計（A 放流口）		合計増減	+7	—	+0.52	+0.06	+0.02

$$\text{負荷量 (kg/日)} = \text{通常排水量 (m}^3\text{/日)} \times \text{通常水質 (mg/L)} \times 10^{-3}$$

排水処理施設（A S プラント）

（業種番号 110：石油化学系基礎製品製造業の環式中間物製造工程）

運転の見直しにより、活性汚泥処理装置の調整水（工業用水）が減少いたします。

以下に排出水量及び負荷量を示します。非特定排水は変更ありません。

排水量及び負荷量

AS：活性汚泥処理装置

排水口名	排水の種類		A S 処理含む				
			排出量 (m ³ /日)	COD 濃度 (ppm)	COD 負荷量 (kg/日)	窒素負荷量 (kg/日)	りん負荷量 (kg/日)
A 放流口	特定排水	変更前	11,740	74.0	416.24	45.384	21.49
		変更後	11,733	74.0	415.72	45.328	21.47
		増 減	-7	—	-0.52	-0.06	-0.02
	非特定排水	変更なし	511	1.0	0.5	0.51	0.26
合計（A 放流口）		合計増減	-7	—	-0.52	-0.06	-0.02

$$\text{負荷量 (kg/日)} = \text{通常排水量 (m}^3\text{/日)} \times \text{通常水質 (mg/L)} \times 10^{-3}$$

3. その他の変更事項

・別紙（１）特定施設の構造

総合研究所の特定施設 71 の 2-イ（洗浄施設）に関して設置場所を修正いたしました。参考資料に修正前、修正後として表記しました。

・別紙（２）-2 特定施設の使用法（排出される汚水等の量及び水質）

サイメン製造施設の特定施設（T-301A、T-301B、D-301）について、フェノール類の濃度について誤記があったので修正前、修正後として表記しました。

別紙（３）-4 処理施設の使用法（排出される汚水等の量及び水質）

オイルセパレーター（１０）（CY）について、フェノール類の濃度について

誤記があったので修正前、修正後として表記しました。

- ・別紙（３）－２ 汚水等の処理の方法（汚水等の処理施設）
活性汚泥処理施設に投入している消耗資材（アンモニア水）について
誤記があったので修正前、修正後として表記しました。
- ・別紙（３）－４ 処理施設の使用方法（排出される汚水等の量及び水質）
活性汚泥処理装置（36）（37）で『※CODと同様に窒素、りんも活性汚泥
処理装置で除去される。』旨を追記しました。

４．Ａ、Ｂ排水口の排出水量、負荷量、汚染状態及びＳＳ

（１）Ａ放流口

前記２の結果より特定排出水の排出水量、COD負荷量、窒素負荷量、りん負荷量、非特定排出水は変更ありません。

また、排出水の汚染状態（濃度）、ＳＳについても変更ありません。

（２）Ｂ放流口

今回の変更において非特定排出水の排出水量、COD負荷量、窒素及びりん負荷量は変更ありません。

また、排出水の汚染状態（濃度）、ＳＳについても変更ありません。

排水量及び負荷量の増減

		排出水の種類	排出量 (m ³ /日)	COD 濃度 (ppm)	COD 負荷量 (kg/日)	窒素負荷量 (kg/日)	りん負荷量 (kg/日)
A 放 流 口	特定 排出水	変更無し	32,111	48.2	1,549.1	252.7	98.00
	非特定 排出水	変更無し	194,567	1.9	372.9	194.6	97.28
	合 計	変更無し	226,678	8.5	1,922.0	447.3	195.28
B 放 流 口	非特定 排出水	変更なし	14,843	2.0	30.0	14.8	7.42

$$\text{負荷量 (kg/日)} = \text{通常排水量 (m}^3\text{/日)} \times \text{通常水質 (mg/L)} \times 10^{-3}$$

５．変更日

工事着手予定年月日：令和８年(2026年) １１月１日（但し、ご承認後）

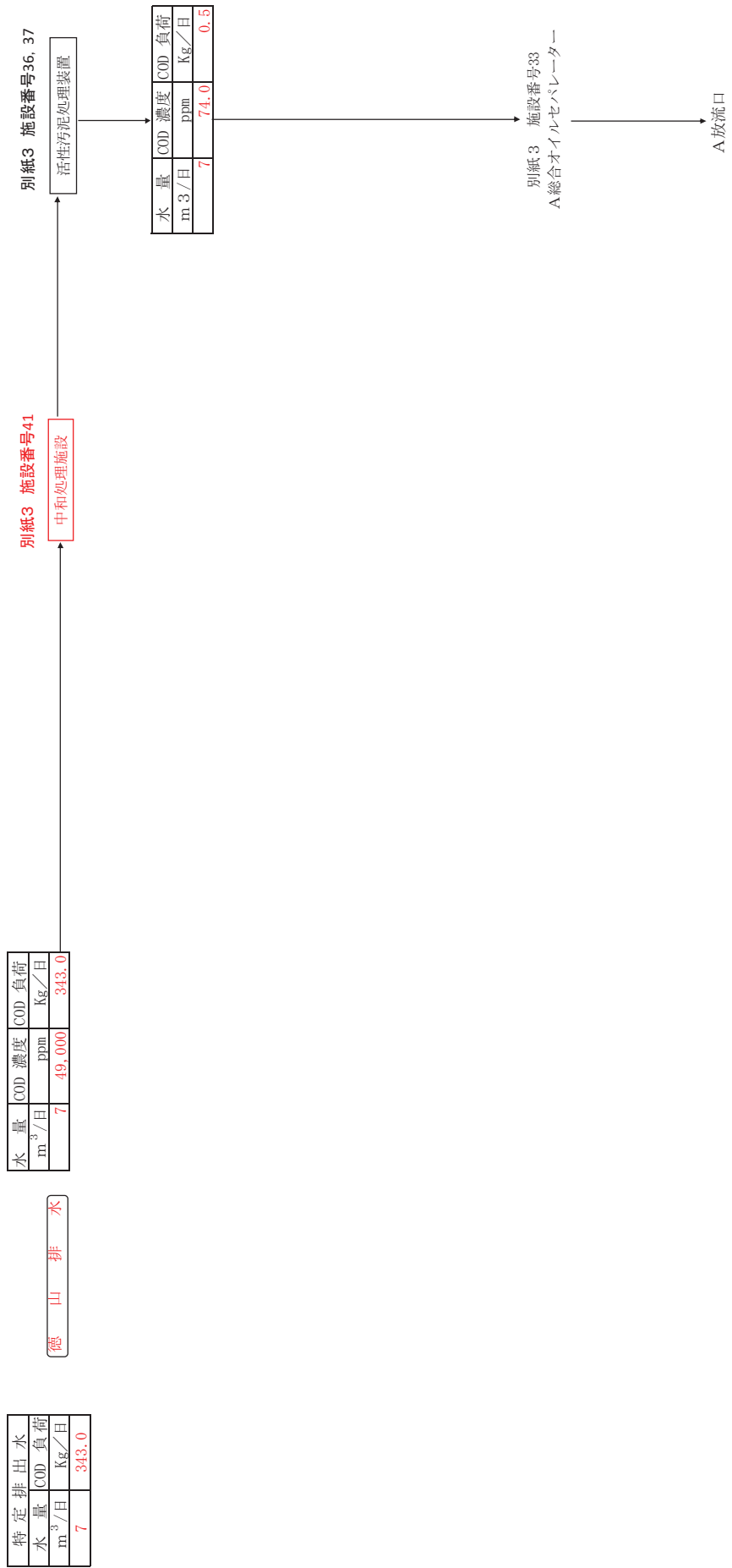
工事完成予定年月日：令和９年(2027年) ２月２８日

使用開始予定年月日：令和９年(2027年) ３月１日

以上

別図-排水系統図 (処理の系統)

(新設)
業 種 区 分 1 2 2
(徳山分工場排水)



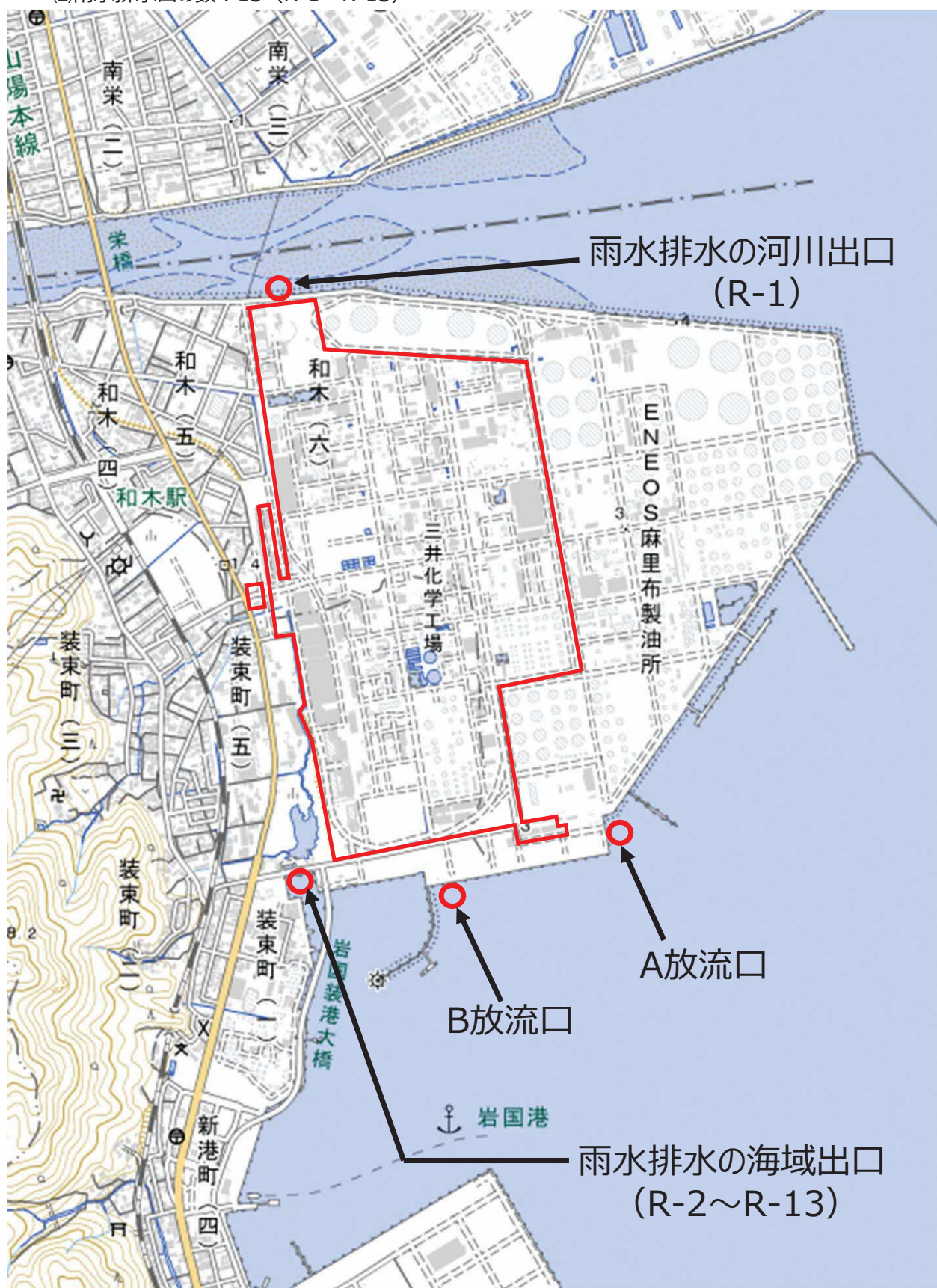
工場付近見取図

別図-1
(変更なし)

【岩国大竹工場の排水口の位置及び数】

(1)放流口の数：2（A放流口、B放流口）

(2)雨水排水口の数：13（R-1～R-13）



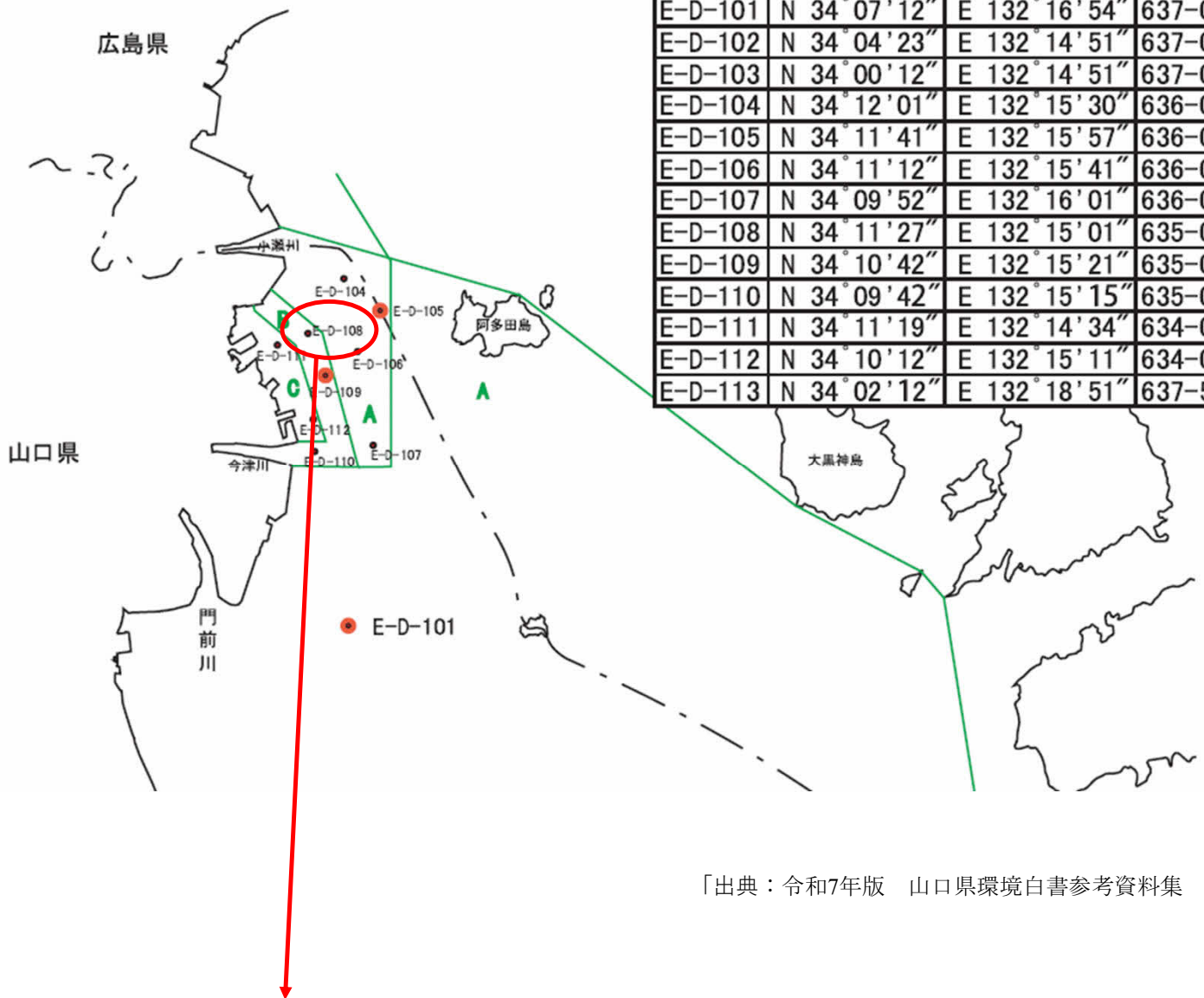
三井化学が関係する海域及び河川の水質調査地点

(2) 水域別水質調査地点図

広島湾西部水域

<海域関係>

調査地点	位置		統一地点番号
E-D-101	N 34° 07' 12"	E 132° 16' 54"	637-01
E-D-102	N 34° 04' 23"	E 132° 14' 51"	637-02
E-D-103	N 34° 00' 12"	E 132° 14' 51"	637-03
E-D-104	N 34° 12' 01"	E 132° 15' 30"	636-01
E-D-105	N 34° 11' 41"	E 132° 15' 57"	636-02
E-D-106	N 34° 11' 12"	E 132° 15' 41"	636-03
E-D-107	N 34° 09' 52"	E 132° 16' 01"	636-04
E-D-108	N 34° 11' 27"	E 132° 15' 01"	635-01
E-D-109	N 34° 10' 42"	E 132° 15' 21"	635-02
E-D-110	N 34° 09' 42"	E 132° 15' 15"	635-03
E-D-111	N 34° 11' 19"	E 132° 14' 34"	634-01
E-D-112	N 34° 10' 12"	E 132° 15' 11"	634-02
E-D-113	N 34° 02' 12"	E 132° 18' 51"	637-51



「出典：令和7年版 山口県環境白書参考資料集 P67」

測定点【E-D-108】

三井化学が関係する海域及び河川の水質調査地点

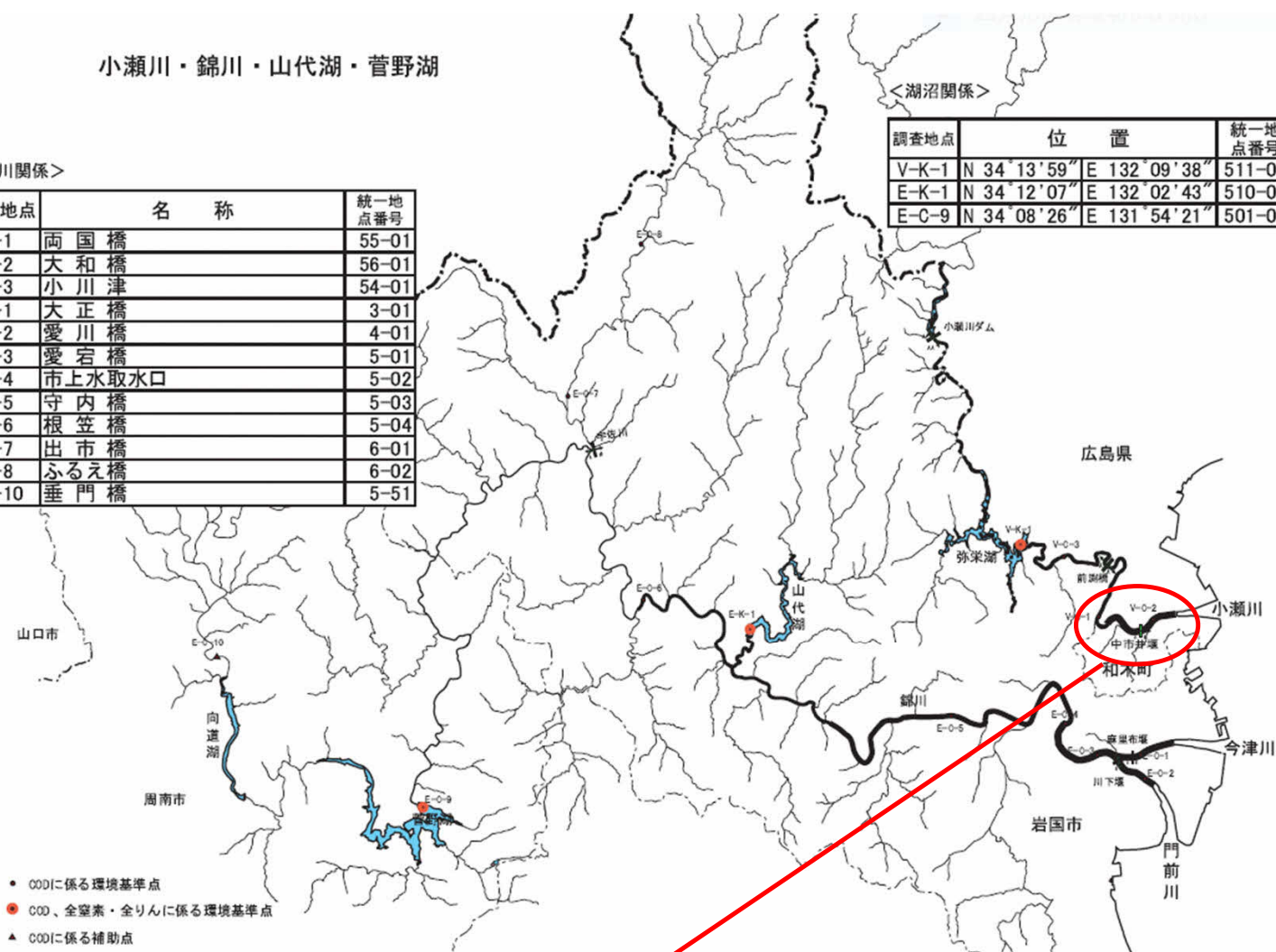
小瀬川・錦川・山代湖・菅野湖

<河川関係>

調査地点	名 称	統一地 点番号
V-C-1	両国橋	55-01
V-C-2	大和橋	56-01
V-C-3	小川津	54-01
E-C-1	大正橋	3-01
E-C-2	愛川橋	4-01
E-C-3	愛宕橋	5-01
E-C-4	市上水取水口	5-02
E-C-5	守内橋	5-03
E-C-6	根笠橋	5-04
E-C-7	出市橋	6-01
E-C-8	ふるえ橋	6-02
E-C-10	垂門橋	5-51

<湖沼関係>

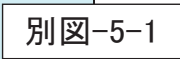
調査地点	位 置	統一地 点番号
V-K-1	N 34°13'59" E 132°09'38"	511-01
E-K-1	N 34°12'07" E 132°02'43"	510-01
E-C-9	N 34°08'26" E 131°54'21"	501-01



「出典：令和7年版 山口県環境白書参考資料集 P68」

測定点【V-C-2】

三井化学株式会社

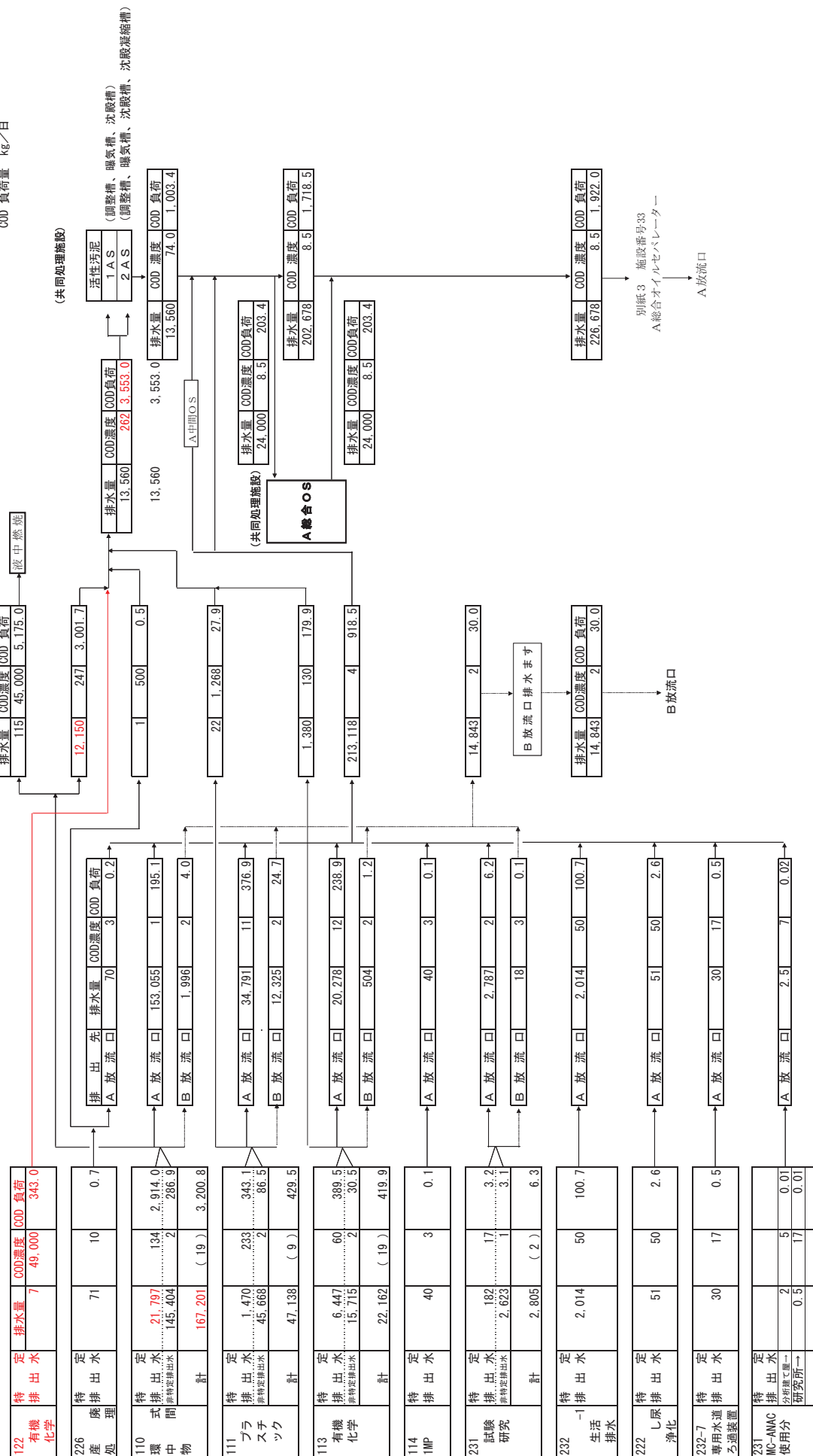


岩国地区排水バランス系統図

注：点線矢印は非特定排水水である。

(変更後)

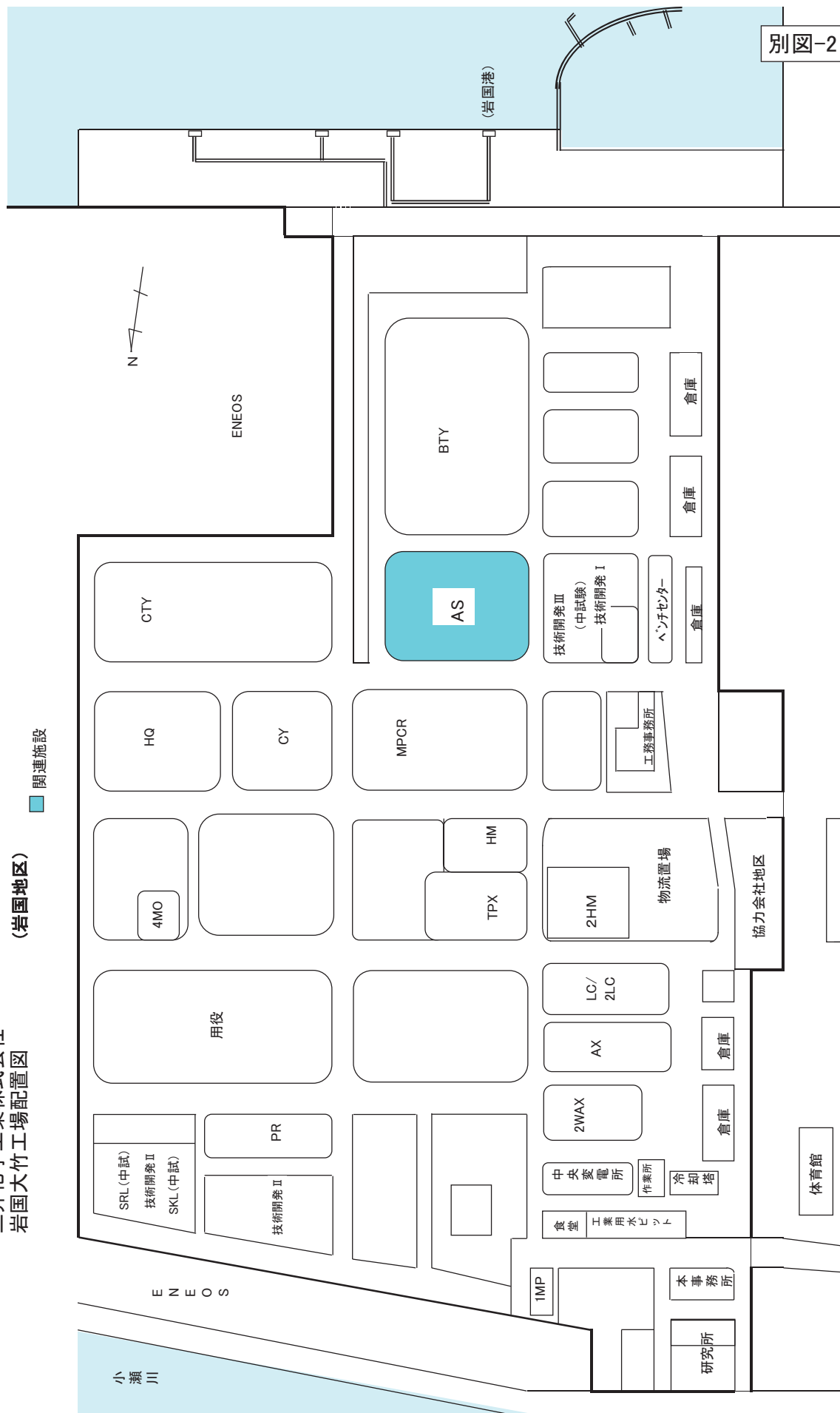
単位
排水量 m³/日
COD濃度 ppm
COD負荷量 kg/日



三井化学工業株式会社
岩国大竹工場配置図

(岩国地区)

■ 関連施設



別図-2